

はじめに

フジタは1910年（明治43年）の創業以来、2010年12月1日で100周年を迎えることになりました。これも当社をご支援いただいた多くのステークホルダーの皆様のおかげと、あらためて感謝申し上げます。また、研究開発部門においても1960年に技術研究所が設立されてから、50周年を迎えています。その間、建築・土木の基盤技術とIT関連技術、環境技術の開発に取り組んでまいりました。その成果の一部を毎年技術研究報告として皆様にご紹介して、今回46回目の発行となりました。

さて、わが国経済はリーマンショック後ようやく持ち直しの動きが出てきているものの、建設業を取り巻く環境は、公共工事の削減と民間設備投資の低迷、グローバル化による産業構造の変革が続いており、厳しい状況が一層増していくものと予想されます。そのような状況において、当社は建設事業の競争力を強化して、お客様の満足度を最大限に追及していくとともに、新規のビジネスチャンスを模索して環境・リニューアル分野、あるいはグローバル化への取り組みを行っております。

技術センターとしても、保有技術を最大限に生かして、お客様の満足度を向上させるための技術提案や総合評価提案を行う機会が増えてまいりました。それには、コストダウン・工期短縮・環境への配慮といった観点から、高度な技術提案を行うことが必要です。さらに、お客様のニーズを先取りした技術開発が重要となってきているため、フジタの技術開発部門は工事部門・営業部門と強いつながりを持って、技術開発を進めております。

今回の技術研究報告でご紹介するのは特に、建築については免振技術、土木・環境については技術提案に用いられた技術（トンネル、フィルダムのリニューアル、コンクリート、環境改善技術等）であり、いずれも建設工事に使われた技術がほとんどとなっております。

当社の企業スローガンは、「高」環境づくりです。永年培ってきた基盤技術と環境技術を強化して、これからもお客様の満足度の向上を追及してまいります。今後とも皆様のご指導とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

平成22年（2010年）10月 執行役員 技術センター所長 小林勝巳